

国際環境シンポジウム

「気候変動と SDGs～アジア太平洋地域における気候変動に対応した都市を構築するための
緩和策と適応策～」

(Mitigation and Adaptation Measures to Build Climate Resilient
Cities in the Asia-Pacific region)

1. 開催趣旨・目的

現在の都市は、気候変動に伴い、巨大台風や集中豪雨による災害リスクの増大、気温上昇や干ばつによる食料不足や食料安全保障の問題など、市民生活と経済に大きな影響が生じる課題に直面しています。こうした気候変動問題への対応は、行政、企業、市民社会等様々な組織による積極的な関与が必要です。本シンポジウムでは、横浜市をはじめアジア太平洋地域における気候変動に向けた取り組みを紹介し、また、大学・研究機関に加え、自治体、企業の取り組みも紹介し、気候変動における国境を越えた連携協力と国内における産官学民の連携を強化するため、第1部及び第2部を市民公開として開催します。

2. 主催

横浜市立大学グローバル都市協力研究センター (GCI) / データサイエンス学部

3. 開催日

令和3年3月20日 (土) 9:30~12:30

4. 使用言語／開催方式

英語 (日英同時通訳あり) / オンライン開催 (Zoom meeting)

5. プログラム

時間	内容	発表者
3/20 (土) 9:10-9:30	受付	
9:30-9:40	開会挨拶	横浜市立大学 GCI センター長 国際商学部 太田墨教授
	本日のシンポジウムについて (概要説明)	横浜市立大学 データサイエンス学部 大西暁生教授
第1部 基調講演		モデレーター: 大西 暁生 横浜市立大学教授
9:40-10:00	ゼロカーボンヨコハマ 2050	横浜市温暖化対策統括本部 企画調整部担当部長 沼田正樹
10:00-10:20	フィリピンの都市における気候変動への緩和策と適応策の取り組み	フィリピン大学ロスバニョス校 Prof. Damasa B. Magcale-Macandog
10:20-10:40	オーストラリアの都市における気候変動への取り組み: 持続可能な水供給	オーストラリア連邦科学産業研究機構 (Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization: CSIRO) Dr. Dewi G.C., Kirono
10:40-11:00	質疑応答: Q&A セッション	
第2部 事例紹介		モデレーター: 井村 秀文 横浜市立大学学長補佐兼特任教授
11:05-11:20	台湾における温室効果ガス削減の法制度の改正: 新時代に向けての気候変動関連法策?	国立成功大学 (台湾) Prof. Yu-Cheng Wang
11:20-11:35	廃棄物の循環型のソリューションによる気候変動対策	テラサイクルジャパン合同会社 Dr. Eric Kawabata
11:35-11:50	マレーシアにおける気候変動への緩和策と適応策の取り組み: ガバナンス、企業および市民社会の側面から	マレーシア科学大学 Prof. Ngai Weng Chan
11:50-12:05	フィリピンにおける気候変動と土地利用変化の地域的影響: 参加型アプローチを用いた研究	公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) Dr. Brian A. Johnson
12:05-12:20	質疑応答: Q&A セッション	
12:20-12:30	総括・結論	横浜市立大学 井村秀文学長補佐 兼 特任教授

6. 参加予定者

- ・横浜市民
- ・講演者及び講演者関係機関
以下アジアの大学の教職員及び学生
- ・ University of the Philippines Los Banos
- ・ Universiti Sains Malaysia
- ・ Vietnam National University
- ・ 国立成功大学（台湾）
- ・ 台北科技大学（台湾）
- ・ 輔仁大学（台湾）
- ・ 横浜市立大学
- ・ アカデミックコンソーシアム（IACSC）メンバー大学 等

本件に係る問い合わせ先

金沢八景キャンパス グローバル推進室

E-mail: kokusai@yokohama-cu.ac.jp / TEL: 045-787-8945